



PCO・フリーマインド通心

ペストコントロール事業を通じて
あなた様との良縁を育み、御商売繁盛のお手伝い 平成27年・11月発行

vol.51



※バックナンバーが必要な方はお申し出下さい!



有限会社 **白神環境衛生消毒**

白神文化財虫害研究所・白神シロアリ技術研究所

〒700-0845 岡山市南区浜野2丁目1-35 オフィスZ内

TEL 086-264-1271 / FAX 086-264-1263

http://www.shiraga.co.jp

白神環境衛生消毒

検索

ブログ随時更新中!



フリーマインド通心をご愛読いただき誠にありがとうございます。このニュースレターは、弊社で防除施工・管理施工させていただいているあなた様、また私共とご縁をいただいているあなた様にお届けしています。



共感できる人類に!

こんにちは!害虫駆除研究家のフリーマインドと白神久志です。あなた様とお変わりございませんか。



日々増してくる寒さに負けぬよう、レッツゴーです!先月以来、私は、現代のネット社会において、家族とは?を深める勉強をスタートさせています。

現代は、人類の「家族」と、その「社会」の崩壊期を迎えていると言われています。私が大学を出た'80年代以降、情報化社会を迎え、IT技術が進んだ結果、人類の知識が人から人へ受け継がれるものではなくなりました。

そのことは結局、「家族」や「社会(地域や学校)」が意味をなさなくなって来ている表れです。

私が読破を進めている多くの書籍での家族の定義は、「家族とは、自分の犠牲を惜しまない。親のため、子のために、犠牲になることが自分の喜びにつながる組織。」と表現されています。

一方、「社会」というのは、「何をすればお返しが来る。」難しく言えば「互酬的」な繋がり。「家族」とは真逆のルールであるとされています。

つまり人類は、その進化の中で、「家族」と「社会」という相反するものを必要として発展してきたのに、現在それが崩壊しようとしているわけです。

社会だけがあっても人間ではなく、家族だけがあっても人間ではない。その二つがなければ、人間性を発揮できないのです。

では「家族」と「社会」を繋いで、その崩壊のブレーキをかけるものは何か。それが「共感」だと考えられています。

私自身は、「共感」とは、論語にも言い表されているような、仁・義・礼・智・信が、それに近いのではないかと考えています。

この話は、来月も引き続き深めたいと思います。

ケーコ先生とフンコのほのぼの日記

scene 50

「用意周到か? 計画的か?」の巻

性差なのか性格なのか、私は何事も綿密に計画を立て、一方ワイフは、無駄も人生の彩と信じるお気楽主義。そんな二人のある日の出来事・・・。

ワタクシ「ケーコ先生! 今度の長期出張、大きな荷物はホテルへ向けて先に送る方が移動が楽ですよ!」

ケーコ先生「わかってるわ! 子供じゃないんだから!」

ワタクシ「そう~まあ直前に慌てぬようにね!」

ケーコ先生「いちいち煩いわね! 彼女に嫌われるわよ!」
・・・そして荷物のパッキングをする様子もなく、過ぎていく日々。出発の前夜!! 居間にドカン! と置かれた、まるで欧州へひと月でも旅行に行くかのような巨大なスーツケース。

ワタクシ「おい! 荷物送ったんじゃないのか? ホテルへ? こんな大きな荷物持って行くの?」

ケーコ先生「あの一泊用のスーツケースは送ったわ。」

ワタクシ「一泊用? どういうこと? なんで大きい方を送らないで、小さい方を送るの? オカシクナイ?」



ケーコ先生「それがイライラして荷造りしたら、業者に渡した後で、あれも、これも必要なことに気づいて、結局こんなに大きくなっちゃった! 泣きたいわ!」

ワタクシ「計画性の欠如だな。」

ケーコ先生「あっそう! ふ〜ん! アナタのように、私の出張に合わせて、美しいのお友達とお食事に行く計画を立てる、用意周到な人とは違いますからね!」

ワタクシ「ちょっと! それってオカシクナイ? 自分の無計画さを棚に上げて、想像だけで、私の行動を決めつける発言! 撤回してもらいたいよ!」

ケーコ先生「ブッチ同様に... 鼻がよ〜く利くのよ! ガブッ!」

【番外編】害虫管理・なるほど・がってん!!

昆虫に由来することわざを、自分の生活に照らし合わせてみると、正に・・・!

蛍雪 (けいせつ) To burn the midnight oil.

苦勞して学問に励むことを指すことわざで、「**蛍雪の功を積む**」と使われます。逆境に負けず弛まぬ努力をすることを表します。



私が受験生であった頃は、蛍雪時代という受験雑誌があったと記憶しています。

会社経営者になって判るのは、経営者というもの、すべからく「**蛍雪**」の精神なくして組織は前進もしないし、結果、社会にも貢献できないということです。無駄がないか気になるのは社長ばかりです。(泣)

虻蜂取らず (あぶはちとらず) fall between two stools



ご存知、同時に二つ手中に収めようとして、結局失敗し、元来のその目的を果たすことができなかつたことのとえです。

有名な同意義のことわざに、「**二兎を追うものは一兎をも得ず。**」がございませぬ。

用意周到に準備したことで、一度に二つを手に入れようなどと、「**虫がいい**」ことを考えたら、結局失敗して、「**泣きっ面に蜂**」などということになりかねませぬ。

弊社でも、色々と多方面から別事業の持ちかけがありますが、只々愚直に本業を進めるのみでございませぬ。



蠅螂の斧 (とうろうのおの) The fly that bites tortoise breaks its beak.

蠅螂は、カマキリのこと。どんな相手にでもカマも振り上げて立ち向かうことから、自分の力の弱さを顧みないで、強敵に向かうなど、無謀ではかない抵抗のこゝろを示すとえです。

現代の「**女性上位社会日本**」を認知しないまま社会に出てしまう、気の毒な男性が、職場の女性への対応を誤り、陥る失敗もこれが原因です。私のように、妻

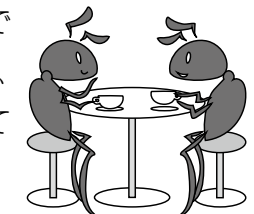


の前ではいつでも「**虫の息**」の死んだふりを装うのも、誠に幸せな人生のコツですが、最近では、それも見抜かれています。

虫が知らせる (むしが知らせる) A man's mind ofen gives him warning of evil to come.

本来は、確証もなく、何とは無しに、いつもと違った行動をした結果、偶然にも難を逃れた様子指して使われることわざです。

我が家では、「**虫も殺さない**」ような妻から、私にとって「**虫が好かない**」依頼があったとしても、決して、妻の「**虫の居所が悪く**」ならないように、日頃「**虫が知らせる**」前に、いつも半歩先に、妻のご機嫌をお伺いして、ご奉仕する毎日です。でも実は「**飛んで火に入る夏の虫**」と、流行りの女子会では話題にされているかも知れませぬ。



ORANGE JACKET (有)白神環境衛生消毒は、特定非営利活動法人 介護高齢者ドッグセラピー普及協会の活動を支援いたしております。

(有)白神環境衛生消毒は、公益社団法人 認知症の人と家族の会の活動を支援いたしております。

シロアリ駆除のご相談は
086-264-1271へ!